

ポスター発表 4月4日(水) 第1日 13:00-14:00

ポスター発表 4月5日(木) 第2日 8:30-9:30

ポスター 番号 分類番号	タイトル 発表者(所属)	ポスター 番号 分類番号	タイトル 発表者(所属)
P1 2-1	有機農法での雑草抑制への試み1. コウキヤガラの塊茎と萌芽直後の幼植物体の比重の変化 ○松尾瑩・保田謙太郎(秋田県大)	P2 1-1	ヒエ属植物の地理的変異について1. タイヌビエ小穂F-Cタイプの日本国内での分布 ○保田謙太郎(秋田県大)・中山祐一郎(大府大)
P3 1-1	雑種形成率から見たススキとオギ間の生殖的隔離の程度 ○西脇垂也・田中有理佐・マルハマ・ナディル(宮崎大)	P4 1-1	異なる強度の草刈りの混在は、棚田畦畔における草本種の種多様性を高める ○丹野夕輝・根岸春奈(岐阜大・院・連農, 静岡大・農)・山下雅幸・澤田均(静岡大・農)・市原実・稲垣栄洋(静岡農林研)
P5 1-1	岡山市南部における沈水雑草 <i>Lagarosiphon major</i> の発生分布状況 ○中嶋佳貴・沖陽子(岡山大・環境生命科学研究科)	P6 1-1	河川堤防の法面管理と河川敷における増水がカラシナとアブラナの分布に及ぼす影響 ○松尾和人・吉村泰幸(農環研)、水口亜樹(中央農研)
P7 1-2	ハクサンオオバコとオオバコの雑種形成の要因 2.白山の亜高山帯におけるハクサンオオバコ, オオバコおよび自然雑種の開花フェノロジー ○佐野沙樹・中山祐一郎(大阪府立大学大学院)・野上達也・吉本敦子(石川県白山自然保護センター)・柳生敦志(石川県立金沢桜丘高等学校)	P8 1-2	乾燥クラゲ類の施用が雑草の発生に及ぼす影響 ○江崎次夫・河野修一・川崎哲郎(愛媛大・農)・稲本亮平(愛媛県南予地方局)・Damdinsuren Enkhjargal・全 権雨(江原大・山)・土田邦夫(植調協会)
P9 1-2	クサイの種子休眠性は土壤水分に依存して可逆的に変化する ○大門奈那子・三浦励一・富永達(京都大・農)	P10 1-2	タイヌビエ種子における休眠関連因子DOG1相同遺伝子の発現 ○青木大輔(中央農研)・岩上哲史(京都大)・渡邊寛明・三浦重典・内野彰(中央農研)
P11 1-2	寒冷地の水稲湛水直播栽培におけるクサネムの発消長と生育 ○川名義明(東北農研)	P12 1-2	用排水路に設置した植栽マットに自然発生した雑草群落 ○中嶋佳貴・沖陽子・中島慎吾・西川天平(岡山大・環境生命科学研究科)
P13 1-2	二級河川における台風襲来と沈水雑草群落の流失および定着との関係 ○沖陽子・中嶋佳貴・仁内実和・内田春香(岡山大・環境生命科学研究科)	P14 1-2	ヒイラギヤブガラシ群落における種子の発芽特性 ○與儀喜代政・高江洲賢文(沖縄農研セ)・比屋根真一(沖縄農研セ石垣)
P15 1-3	アカマツの針葉、落葉、土壌のメタノール抽出物のアレロパシー活性 ○木村蒨子・加藤尚(香川大学農学部)	P16 1-3	ダイズとの競合条件下でのアオゲイトウの繁殖特性 ○石川枝津子・臼木一英(北農研)
P17 1-3	アスパラガスに含まれるアレロパシー物質の研究 ○渡邊雄亮・加藤尚(香川大学)	P18 1-3	浮遊雑草に対するランタナ地上部の水溶性浸出液のアレロパシー効果 ○田中美涼・伊藤一幸・東哲司(神戸大・農)
P19 1-3	ツクサと混植した場合のマルバツクサの生育および種子生産 ○松尾光弘・永迫一樹(宮崎大学農学部)	P20 1-3	Carbon disulfide and L-mimosine as allelochemicals from <i>Mimosa quadrivalvis</i> ○ABDUL RAHIM Daliza・松本宏・藤井義晴(筑波大, 東京農工大)
P21 1-3	ヒエ、アワ、モロコシ類のアレロパシー活性の検定 ○藤井義晴(東京農工大)	P22 1-3	Allelopathic potentials of <i>Goniothalamus</i> spp. from Sarawak, Malaysia ○Raihan Ismil, Rie Miyaura (Tokyo Univ. of Agr.), Baki Bakar (Univ. of Malaya), Yoshiharu Fujii (Tokyo Univ. of Agr. and Tech.)
P23 1-4	雑草種子の外観による食用可能性に関する大学生の判断 ○森田弘彦(秋田県大)	P24 1-4	営農組合が造った水田ビオトープの農業的活用法 兵庫県篠山市真南条上における事例 ○中村弥世・伊藤一幸・東哲司(神戸大・農)
P25 1-5	水田土壌への米ぬか添加がコナギの発芽に及ぼす影響—土壌ごとに異なる溶液ECと発芽率との関係— ○野副卓人・内野彰(中央農研)・大川茂範(宮城古川農試)・鈴木幸雄(福島県農業総合センター)・新妻和敏(福島県農業総合センター会津地域研究所)・佐々木園子(福島県農業総合センター浜地域研究所)・中山幸則(三重県農業研究所)	P26 2-1	水田畦畔へのカバープランツの植栽は種子食昆虫の個体群密度を高める ○市原 実・松野和夫・稲垣栄洋・済木千恵子(静岡農林研)・水元駿輔・山口 翔・山下雅幸・澤田 均(静岡大)
P27 2-1	未活用有機質資材酢液による水田雑草防除の検討 ○河原蒨子・伊藤一幸(神戸大)・須藤健一・山元義久(兵庫農技セ)・水野英則(サタケ)	P28 2-1	いくつかの除草剤代替雑草防除技術が水田雑草発生量に及ぼす影響とその経年変化 ○須藤健一・山元義久・澤田富雄・鍋谷敏明・戸田一也(兵庫農技)・河原蒨子(神戸大)
P29 2-1	水稲用除草剤テニクロールに関する研究(第2報)水稲移植栽培における雑草イネ防除 ○山崎明彦・関野景介・生田英二・小柳弘・山田祐司(エス・ディー・エス バイオテック)	P30 2-1	宮城県の水稲・大豆輪作地帯における雑草発生の実態—水稲作・大豆作の相互作用— ○大川茂範・三上綾子・辻本淳一(宮城古川農試)、平智文(宮城県病害虫防除所)、浅井元朗(中央農研)
P31 2-2	局所施肥と中途除草が雑草抑制抑制とニンジンの生育に及ぼす影響 ○内山知二・佐野修司(大阪農経セ)	P32 2-2	京都府丹波北部地域のアズキ栽培水田転換畑における雑草発生の実態 ○大橋善之・大門弘幸(大阪府大)・富永達(京都大)
P33 2-2	暖地の有機水田二毛作における麦作の雑草発生量に及ぼす播種前耕起と晩播の影響 ○大段秀記・住吉正・小荒井晃(九州沖縄農研)	P34 2-2	有機ダイズ栽培の雑草制御 大麦マルチの利用 ○岩石真嗣・千嶋英明・石綿薫
P35 2-2	茨城県大規模水田輪作地域の大豆圃場におけるGISを用いた雑草発生実態解析および雑草発生危険度予測 ○中谷敬子・澁谷知子・淵山律子・鄭 凡喜・三浦重典(中央農研)	P36 2-2	十勝地方における初冬のディスクハロー処理による野良いも防除 ○臼木一英・石川枝津子・岩田幸良・井上聡(北農研)

ポスター 番号 分類番号	タイトル 発表者(所属)	ポスター 番号 分類番号	タイトル 発表者(所属)
P37 2-6	静岡県中遠地域の水田畦畔に自生するネズミギのグリホサートに対する反応 ○新實由貴・池田六洋・山下雅幸(静岡大・農)・石田義樹2(静岡農林研)・浅井元朗(中央農研)・下野嘉子・富永達(京都大・農)・澤田均(静岡大・農)	P38 3-1	Effect of L-DOPA on ROS generation and mitochondrial respiration in roots of lettuce seedlings ○MUSHTAQ Muhammad Naeem・春原由香里・松本宏(筑波大・生命環境)
P39 3-1	Isolation of new hexapeptide hapalocyclamide from <i>Hapalosiphon</i> sp. and characterization of its phytotoxic activity KOOKKAEW Intira・松山茂・春原由香里・○松本宏(筑波大・生命環境)	P40 3-1	ウスバサイシンから発生する揮発性物質オイカルボンのトウモロコシとシコクビエでの生育抑制作用と活性酸素発生の影響 馬場陽平・○春原由香里・松本宏(筑波大・生命環境)
P41 3-3	山形県において発生するスルホニルウレア系除草剤抵抗性ウリカワに対する各種除草剤成分の効果 ○松田 晃(山形農総研セ)・内野 彰(中央農研)	P42 3-3	岡山市の水稲乾田直播地帯におけるシハロホップチル抵抗性イヌビエ有芒種とヒメタイヌビエの分布 ○平山智士(神戸大農)・那須英夫(JA全農おかやま)・伊藤一幸(神戸大農)
P43 3-3	アセト乳酸合成酵素遺伝子に変異を持たないオモダカにおけるベンスルフロンメチル抵抗性機構 ○三浦斗夢・春原由香里・内野彰・松本宏(筑波大・生命環境, 中央農研)	P44 3-3	次世代シークエンサーを用いたタイヌビエのトランスクリプトーム解析および除草剤誘導性遺伝子のスクリーニング ○岩上哲史(京都大)・青木大輔(中央農研)・西田有一郎(理研)・長嶋剛史・舟山亮・中山啓子(東北大)・渡邊寛明・内野彰(中央農研)・稲村達也(京都大)
P45 3-5	水稲乾田直播栽培における除草剤処理回数削減の可能性 ○牛尾昭浩・山元義久・須藤健一(兵庫県立農林水産技術総合センター)	P46 3-6	ミジンコウキクサの除草剤感受性(Herbicide susceptibility of <i>Wolffia globosa</i> .) ○石原悟・佃美和(FAMIC農業検査部)
P47 3-1	水稲用除草剤ベンゾピシクロンに関する研究(8)ベンゾピシクロン300g a.i./ha剤の創製 ○原澤健一・金安洋典・山崎明彦・新井健太郎・生田英二・関野景介・小柳弘・山田祐司((株)エス・ディー・エスバイオテック)	P48 1-2	Ecological Traits of Weed Flora with Different Soil Moisture in Remodeling Paddy Field of Nakdong River ○J.B. Hwang, E.S. Yun, K.Y. Jung, C.Y. Park, Y.D. Choi, N.K Kim and I.S. Oh Department of Functional Crop, National Institute of Crop Science, RDA, Korea
P49 高校生	花室川における沈水植物量とハグロトンボ個体群の年次変動 茨城県立竹園高等学校 保健委員会環境班(スーパーサイエンス部)	P50 高校生	セイタカアワダチソウを利用した生物農薬の研究 白井有樹・土田悠太・軽部亮佑・今矢智彬(茨城県立並木中等教育学校)